

倭名類聚抄郷名考證(三)

和泉國・攝津國

池邊彌

和泉郷第七十一

國(刊本)

大鳥郡

(於保止利)(郡、刊本)

大鳥郡、持統紀、三、八、丙申。

統紀、靈龜二、四、甲子。天平十六、十、辛丑。

行基大僧正墓誌(天平廿一、三、廿三)。

天平勝宝五、六、十五、丹裏古文書。

天平十五年帳(西琳寺縁起所引)。

大鳥 於保止利

大鳥郷、元曆二、二、廿五、和泉国司庁宣案。

元曆二、二、廿九、撰政家(藤原基房政所下文案)。

延喜廿二、四、五、和泉国大鳥神社流記帳。(註一)

大鳥里、行基年譜。十訓抄三(十六)。

大鳥連、新撰姓氏錄、和泉国神別。

大鳥神、日本紀略、弘仁十四、七、丙辰。

統後紀、承和九、十、己巳。

三代実録、貞觀元、正、廿七。貞觀元、九、八。

貞觀三、七、二。

新抄格勅符抄(大同元年牒)。

大鳥神社、延喜式神名帳。

大鳥の宮、平治物語卷上。

早部

久散倍(高本)
久佐倍(刊本)

日(刊本)

日下部郷、天平二、九、瑜伽師地論卷二六。

日部郷、天平勝宝五、六、十五、丹裏古文書。

早部郷、行基年譜。

日部驛、延喜兵部省式。

日部神社、延喜式神名帳。

日下部首、新撰姓氏錄、和泉国皇別。

日下部首麻呂、天平二、九、瑜伽師地論卷二六。

日下刀、延喜廿二、四、五、和泉国大鳥神社流記帳。
(註二)

和田

迹岐多 (高本)
爾木多 (刊本)

和田郷、行基年譜。

和田首、新撰姓氏錄、和泉国神別。

和太連、新撰姓氏錄、和泉国神別。

和田、建保二、二、金剛寺文書。

上神

加都美和 (高本)
加無都美和 (刊本)

上神郷、延喜廿二、四、五、和泉国大鳥神社流記帳。

行基年譜。建保二、二、金剛寺文書。

三輪里、住吉神代記。

大村

於保无良

大村郷、天平十五年帳 (西琳寺縁起所引)。

大村里、行基年譜。

大村、住吉神代記。

大村直、新撰姓氏錄、和泉国神別。

土師

波迹之 (高本)
波爾之 (刊本)

土師郷、行基年譜。

蜂田

波智太 (高本)
波知多 (刊本)

蜂田郷、行基年譜。明匠略伝。

蜂田、延喜廿二、四、五、和泉国大鳥神社流記帳。

蜂田莊、保元三、十二、三、官宣旨。

蜂田首、行基大僧正墓誌。

蜂田連、新撰姓氏錄、和泉国神別。

蜂田連瀧雄 (大鳥郡人)、三代夷録、貞觀六、九、四。

蜂田薬師、新撰姓氏錄、和泉国諸蕃。日本靈異記、中七。

続後紀、承和元、六、辛丑。

蜂田神社、延喜式神名帳。

石津

以之都

石津原、仁徳紀、六十七年十月。

石津、延喜廿二、四、五、和泉国大鳥神社流記帳。

土佐日記。更級日記。

石津川、延喜廿二、四、五、和泉国大鳥神社流記帳。

石津連、新撰姓氏錄、和泉国神別。

石津太神社、延喜式神名帳。

塩穴 之保阿奈 (高本)
之保乃阿奈 (刊本)

鹽穴郷、行基年譜。

常陵 今爲深井布賀爲 (高本)
今爲深井不加井 (刊本) (註三)

深井郷、行基年譜。

(鶴田里) 行基年譜。

和泉郡

泉郡(河内國)、欽明紀、十四、五朔。

日本靈異記、中2。中13。中37。

和泉郡、統紀、靈龜二、三、癸卯。靈龜二、四、甲子。

天平十六、十、辛丑。天応元、六、戊子。

天平勝宝九、四、七、西南角領解。

法隆寺伽藍縁起并流記資財帳天平十九、二、十二。

和泉神社、延喜式神名帳。

泉穴師神社、延喜式神名帳。

泉穴師神、三代夷録、貞觀七、二、廿七。貞觀七、六、朔。

貞觀十、二、廿一。

穴師神、統後紀、承和九、十、己巳。

泉井上神社、延喜式神名帳。

今泉莊、台記、仁平二、十一。

信太 臣多

志努田、住吉神代記。

信 達、後鳥羽院熊野御幸記。

信太臣、新撰姓氏録、和泉国諸蕃。

信達莊、殿曆、嘉承二、五、三。

シノ夕明神、後鳥羽院熊野御幸記。

信太寺、保元三、十二、三、官宣旨。

小竹田丁子、万葉集 卷九(一、八〇二)。

しのたのもり、枕草子。 いほぬし。

篠田王子、後鳥羽院熊野御幸記。

上泉 加无津以豆美 (高本)
加美都以都美 (刊本)

下泉

輕部 加留倍 (刊本)

輕 郷、法隆寺伽藍縁起并流記資財帳天平十九、三、十二。

加里乃郷、新撰姓氏録、和泉国皇別。

輕部君、新撰姓氏録、和泉国皇別。

坂本 佐加毛止 (刊本)

坂本朝臣、新撰姓氏録、和泉国皇別。

坂本臣(和泉郡人)、統紀、天応元、六朔。
坂本臣鷹野(和泉舊墟)、統後紀、承和三、三、丙午。

池田

以介多(刊本)

池田首、新撰姓氏錄、和泉國皇別。

池田村、行基年譜。

上池田村、天平勝宝元、十一、十三、久米多寺領流記坪付。

(存疑)

山直

夜末太倍(高本)
也末多倍(刊本)

山直里、日本書紀、中10。今昔物語集20-30。

山直、新撰姓氏錄、和泉國神別。

山直神社、延喜式神名帳。

山直池作(和泉國人)、統後紀、承和三、十二、己亥。

八木

八木郷(河内國)、天平勝宝九、四、七、西南角領解。

八木郷、平家物語 卷第十二(泊瀬六代)。

夜疑神社、延喜式神名帳。

掃守

加余毛利(刊本)

掃守連、新撰姓氏錄、和泉國神別。

掃守首、新撰姓氏錄、和泉國神別。

掃守田首、新撰姓氏錄、和泉國皇別。

木鳴

岐乃之万(高本)
木乃之末(刊本)

日根郡

(比禰)(郡、刊本)

日根郡、統紀、靈龜二、三、癸卯。靈龜二、四、甲子。

天平十六、十、辛丑。天平神護元、十、甲申。

和泉監正稅帳(天平十、四、五)。

天平十五、正、七、造寺所公文。

法隆寺伽藍緣起并流記資財帳(天平十九、二、十一)。

天平勝宝五、六、十五、丹裏古文書。

日根、雄略紀、十四、四、朔。

日寢、任吉神代記。

日禰野、任吉神代記。

近義

近木郷、仁平二、正、廿八、平姉子田地売券。(註四)

行基年譜。西大寺田園目錄。宝簡集十九。

小木郷、吾妻鏡、文治二、五、廿五。

古木、多武峰緣起。

近義首、新撰姓氏錄、和泉國未定雜姓。

胡木新王子社、(和泉國)国内神名帳。

近木莊、統寶簡集八十二。

賀美

可美郷、天平十五、正、七、造寺所公文。

賀美郷、丹裏古文書(天平勝宝五、六、十五)。行基年譜。

上村主、新撰姓氏録、和泉国諸蕃。

呼於乎

(刊本)

噓啖驛、延喜兵部省式。

男神社、延喜式神名帳。

雄濱、住吉神代記。

をつ、土佐日記。

鳥取 止々利

鳥取郷、法隆寺伽藍縁起并流記資財帳(天平十九、二、十二)。

鳥取、新撰姓氏録、和泉国神別。

(日根郷)

日根里、行基年譜。

日根造、統紀、天平十二、十一、甲辰。

新撰姓氏録、和泉国諸蕃。

和泉監正税帳(天平十、四、五)。

日根連、和泉監正税帳(天平十、四、五)。

日根行宮、後紀、延暦廿三、十、丁未。

日根神社、延喜式神名帳。

《深日郷》 日本地理志料。

深日行宮、統紀、天平神護元、十、甲申。

深日松尾山、法隆寺伽藍縁起并流記資財帳。

吹飯乃濱、万葉集 卷十二(三、二〇一)。

ふけひのうら、津守国基集。

吹井の浦、平家物語 卷九。

《那珂郷》 日本地理志料。

《資母郷》 日本地理志料。

(註一) 和泉國大鳥神社流記帳に見える「大鳥郷」は「平安遺文」には、「追書ナラン」とある。

(註二) 「日下刀」は「日下刀」ではないか。

(註三) 陵(高本)・凌(刊本)は「凌」で「常に凌える」

で「深井」の戲訓的宛字ではなからうか。

(註四) 本文書には国名、郡名の記載はない。

攝津郷第七十二

國(刊本)

住吉郡

住吉郡、統紀、天平勝宝二、八、辛未。住吉神代記。

(須三與之)郡、刊本

天平十五年帳（西琳寺緣起所引）。

住吉（須美乃叡）（註一）、撰津國風土記逸文（釈日本紀六所引）。

須美乃延、万葉集 卷廿（四、四〇八）。

須美乃江、万葉集 卷廿（四、四五七）。

清江、万葉集 卷一（六九）。万葉集 卷三（二九五）。

墨江、古事記上。古事記中、仲哀。古事記下、仁德。

万葉集 卷七（一、一四四）。

万葉集 卷十六（三、八〇八）。住吉神代記。

墨吉、万葉集 卷七（一、一五〇）。万葉集 卷七（一、三六一）。万葉集 卷十九（四、二四五）。

住吉、神功紀、撰政元年。欽明紀元年。齊明紀元年。

万葉集 卷一（六五）。（以下略）

住吉邑、履中紀六年。

住吉國、撰津國風土記逸文（釈日本紀六所引）。

住吉大神、神代記。繼世紀六年。

住吉大明神、住吉神代記。

住吉津、雄略紀十四年。

すみよし、（補註）

住道 須未知

住道郷、住吉神代記。

住道里、住吉神代記。

住道、仁賢紀 六年九月。

住道首、新撰姓氏錄、撰津國未定雜姓。

住道神、住吉神代記。

住道（伊佐具二）社、延喜玄蕃寮式。

中臣須牟地神、三代夷録、貞觀元、正、廿七。

中臣住道神、住吉神代記。

中臣須牟地神、住吉神代記。

神須牟地神社、延喜式神名帳。

須牟地會根神、住吉神代記。

須牟地會根神社、延喜式神名帳。

大羅 於保与佐美

大岡里、天平十五年帳（西琳寺緣起所引）。

依羅宿禰、新撰姓氏錄、撰津國皇別。

依羅我孫忍麻呂（攝津國住吉郡人）、統紀、天平勝宝二、八、辛未。

大依羅神、新抄格勅符抄（天平神護元年）。三代夷録、貞

觀元、正、廿七。貞觀元、九、八。元慶元、六、十四。

元慶三、六、十四。日本紀略、延喜九、九、十三。

大依羅社、統後紀、承和十四、七、丁卯。

大依羅神社、延喜式神名帳。

依羅池、古事記中、崇神。

崇神紀 六十二年。推古紀 十五年。

依網屯倉、仁德紀 四十三年九月。

杭全

久万太 (高本)
久末多 (刊本)

久比萬多郷、西大寺田園目錄。

餘戸

(高本なし)

榎津

江奈都 (高本)
以奈豆 (刊本)

墨吉乃得名津、万葉集 卷三 (二八三)。
朴津、住吉神代記。

(伎人郷)

伎人郷、万葉集 卷廿 (四、四五七)。

伎人堤、統紀、天平勝宝二、五、丙午。

三代実録、貞觀四、三、四。

吳坂、雄略紀 十四年正月。

伎人神、住吉神代記。

(田邊郷)

天平五年計帳。西大寺田園目錄。

(神戸郷)

住吉神代記。

(住吉郷)

日本地理志料。

百濟郡

(久太良) (郡、刊本)

百濟郡、天平勝宝九、四、七、西南角領解。

統紀、延曆十、八、壬子。統後紀、天長十、四、己卯。

貞觀七、九、十五、墾田壳券。(註二)

東部

東郷、徒人勘籍。

田邊東神、三代実録、貞觀四、十一、十一。

南部

南部郷、天平勝宝九、四、七、西南角領解。(註三)

西部

田邊西神、三代実録、貞觀四、十一、十一。

(百濟郷) 貞觀七、九、十五、墾田壳券。(註二)

(荒陵郷)

荒陵郷、聖德太子伝曆扶桑略記推古元年条所引縁起。

荒陵、仁徳紀五十八年五月。推古紀 元年九月。

統紀、延曆七、三、甲子。

荒陵寺、後紀、大同三、九、乙未。

東生郡

(比牟我志奈里)(郡、刊本)

東生郡、神護景雲三、九、十一、香山薬師寺鎮三綱牒。

上宮聖徳太子伝補闕記。

東西二郡、統紀、天平六、三、丁丑。

古市

不留智

郡家

酒人

酒人郷、神護景雲三、九、十一、香山薬師寺鎮三綱牒。

厚 (高本)

味原

(刊本)

味原宮、万葉集 卷六(一、〇六二)。

味經宮(阿賦賦)、孝徳紀、白雉元、正 白雉二、十二。

味經乃原、万葉集 卷六(九二八)。

味原牧、元慶八、九、一格(類聚三代格)。

仁安二、十二、十、典葉寮解。 延喜典葉寮式。

餘戸

(高本なし)

西成郡

(途之奈里)(郡、刊本)

西成郡、統紀、神護景雲三、五、己丑。 住吉神代記。

西生郡、天平勝宝四、正、十四、安宿王家牒。

西 郡、天平勝宝九、四、七、西南角領解。

西城郡、大安寺伽藍縁起并流記資財帳天平十九、二、十二。

天平廿、四、廿五、造寺所公文。 行基年譜。

長源^{溝か}

長溝郷、大安寺伽藍縁起并流記資財帳天平十九、二、十二。

安良

安良里、天平勝宝九、四、七、西南角領解。

荒荒公、新撰姓氏録、摂津国諸蕃。

阿良直、坂上系図。

荒荒神、日本紀略、延喜三、五、十九。

安良禮松原、万葉集 卷一(六五)。

伏見

布之美(刊本)

槻本

都木乃毛止(刊本)

槻本驛、延喜兵部省式。

郡家

(高本なし)

宅美

工首、新撰姓氏録、和泉国未定雑姓。

讚楊

佐夜部首、新撰姓氏録、撰津国神別。
佐夜部首顯主、続後紀、承和六、十、丁卯。

雄惟

三野

美努郷、天平廿、四、廿五、造寺所公文。
天平勝宝四、正、十四、安宿王牒。
美怒郷、天平宝字四、十一、七、智識優婆塞等貢進文。
三野造、新撰姓氏録、撰津国諸蕃。

津守

津守里、行基年譜。
津守、新撰姓氏録、撰津国神別。 住吉神代記。
津守宿禰、新撰姓氏録、撰津国神別。 住吉神代記。

驛家

(高本なし)

餘戸

(高本なし)

鳥 (高本)

鳥上郡

(志末乃加美(郡、刊本)

嶋上郡

続紀、和銅四、正、丁未。神護景雲三、二、辛酉。
東大寺奴婢帳、天平十五、九、一。天平十五、九、
一一。天平勝宝元、十一、三。
石川朝臣年足墓誌(天平宝字六、十二、壬申)。
神護景雲元、十二、一格(類聚三代格)。
天曆四、六、十七(朝野群載)。
三島賀美郡、播磨国風土記。
三嶋上郡、天平宝字四、十、廿二、写経所公文。
三島郡、雄略紀九年。 欽明紀廿三年。

濃味

濃味里、天平勝宝元、十一、三、東大寺奴婢帳。
野身郷、天平十五、九、一、東大寺奴婢帳。
野身里、天平十五、九、二、東大寺奴婢帳。
野身里、天平十五、九、二、東大寺奴婢帳。

天平勝宝元、十一、三、東大寺奴婢帳。

濃美郷、伊呂波字類抄、桜井寺条。

野身神社、延喜式神名帳。

兒屋

(高本なし)

兒屋里、神護景雲元、十二、一格(類聚三代格)。

兒屋郷、天曆四、六、十七、田地売買券(朝野群載)。

直上

万賀美 (高本)
未加美 (刊本)

眞

(刊本)

白髮郷、石川朝臣年足墓誌、天平宝字六、十二、壬申。(註四)

眞上莊、長秋記、元永二、九、五。保延元、八、十四。

服部

波止利

服部連、新撰姓氏録、撰津国神別。

神服神社、延喜式神名帳。

服部庄、天元三、二、二、某寺資財帳。

高上

高生上・高生下、(地名辞書)。

高生、(地理志料)。

(註五)

高於郷、天平勝宝九、四、七、西南角領解。(註三)

三嶋竹村屯倉、安開紀、元年。

武生連、統紀、天平神護元、十二、辛卯。宝龜三、九、戊戌。

宝龜四、十、乙卯。天応元、四、癸卯。延暦三、五、甲

午。延暦七、二、辛巳。延暦十、四、戊戌。

(水成瀬郷)

水成瀬郷、寛徳二、五、十八、関白家政所下文案。

水成瀬村、寛治五、四、五、撰津国左近衛将曹中臣近友

請文。

山崎水成庄、天曆四、十一、廿、東大寺封戸莊園并寺

用帳。

水成瀬庄、東大寺要録、卷第六。

《奈良郷》 後拾遺往生伝 中。

鳥 (高本)

島下郡

(准上)(郡、刊本)

島下郡、統紀、和銅四、正、丁未。天平神護元、二、辛未。

新野

迹比夜 (高本)
爾比夜 (刊本)

新屋神、新抄格勅符抄(大同元年)。

三代実録、貞觀元、九、八。

新屋天照御魂神、三代実録、貞觀元、正、廿七。

新屋坐天照御魂神社、延喜式神名帳。

宿久人

(高本・刊本)

壽久郷、神宮雜例集一(天平十二、四、五)。

宿久御園、天永三、四、中宮職解(朝野群載卷四)。

宿久野、山槐記、元曆元、九、十五。

宿久庄、安和二、七、八、法勝院領目録。

宿御莊、小右記、寛仁二、五、卅。

須久久神社、延喜式神名帳。

安威

阿井

三島郡藍原、雄略紀、九年二月。

藍野陵、繼体紀廿五、十二。

三嶋藍野陵、延喜諸陵寮式。

中臣藍連、新撰姓氏録、撰津国神別。

阿爲神社、延喜式神名帳。

安井莊、玉葉、文治四、正、十一。

安威山、元亨釈書(鎌足条)。

穂積

保都美(刊本)

穂積村、西大寺資財流記帳(宝龜十一、十二、廿五)。

(味木里)

味木里、日本靈異記、上27。今昔物語集20-38。

《次田里》 行基年譜。

《高瀬里》 行基年譜。

豊嶋郡

(手島)(郡、刊本)

豊嶋郡、統紀、神護景雲三、五、己丑。宝龜十一、五、甲戌。

天平十五年、經師勘籍。住吉神代記。

手嶋郡、天平宝字六、六、廿一、造寺所公文。

日本靈異記、下2。

秦上

上秦郷、天平宝字六、六、廿一、造寺所公文。

秦下

秦忌寸、新撰姓氏録、撰津国諸蕃。

秦人、新撰姓氏録、撰津国諸蕃。

驛家

(高本なし)

草野驛、延喜兵部省式。

萱野郷、元曆元、九、撰津国垂水西御牧 萱野郷百姓等解。

萱野村、元暦元、九、廿、源義經書狀案。

豊嶋

天之萬 (刊本)

手島郷、天平十五年、経師勘籍。

豊嶋連、新撰姓氏録、撰津国皇別。

豊島牧、延喜左右馬寮式。

餘戸

(高本なし)

桑津

久波都

桑津邑、応神紀十三年九月。

大明

於保阿計 (高本)
於保阿介 (刊本)

《箕丘里》 行基年譜。

《勘太郷》 日本感靈録。

河邊郡

河邊郡、統紀、和銅六、九、巳卯。

住吉神代記。

(加波乃倍) (郡、刊本)

撰津国風土記逸文 (万葉集註釈 卷三 所引)。

川邊郡、天平勝宝三、三、三。天平勝宝八、八、廿二、東大寺

奴婢帳。

雄家

孚倍

小戸神社、延喜式神名帳。

雄家莊、醍醐寺雜事記 十四。

山本

也萬毛止 (刊本)

山本里、行基年譜。

爲奈

猪名縣、仁德紀 三十八年八月。

韋那君、古事記 下。

猪名公、天武紀 十三、十、朔。

爲奈真人、新撰姓氏録、撰津国皇別。

爲奈部首、新撰姓氏録、撰津国諸蕃。

爲奈野、統後紀、承和十一、十、戊子。

三代実録、貞觀元、四、廿。貞觀十五、八、朔。

仁和元、正、十三。

爲奈野牧、延喜左右馬寮式。

猪名野、万葉集 卷三 (二七九)。

居名野、万葉集 卷七 (一、一四〇)。

猪名の柴原、神樂歌。

猪名川、万葉集 卷十六 (三、八〇四)。

爲奈川、住吉神代記。

爲奈山、住吉神代記。

居名山、万葉集卷十一（二、七〇八）。

猪名の湊、神樂歌。

居名之湖、万葉集卷七（一、一八九）。

猪名莊、天曆四、十一、廿、東大寺封戸莊園并寺用帳。

大治三、七、東大寺莊園目錄。

仁平三、肆、廿九、東大寺諸莊園文書目錄。

郡家

（高本なし）

郡家郷、天平勝宝八、八、廿二、東大寺奴婢帳。

楊津

夜奈以都（高本）
也奈以豆（刊本）

楊津院、行基年譜。

楊津莊、中右記、長承二、八、廿。

餘戸

（高本なし）

大神

於保无和（高本）
於保無知（刊本）

大神神、新抄格勅符抄（天平神護元年）。

神人、新撰姓氏錄、撰津園神別。

神直、新撰姓氏錄、撰津園神別。

雄上

（高本なし）

（坂合郷） 天平勝宝三、三、三、東大寺奴婢帳。

武庫郡

（無古）郡、刊本）

武庫郡、統紀、天平神護二、九、壬申。

武庫國、住吉神代記。

務古、住吉神代記。

武庫行宮、孝德紀、大化三、十二、晦。

六兒乃泊、万葉集卷三（二八三）。

武庫河、万葉集卷七（一、一四一）。

武庫能字美、万葉集卷十五（三、六〇九）。

武庫能和多里、万葉集卷十七（三、八九五）。

賀美

上村主、新撰姓氏錄、撰津園諸蕃。

兒屋

古也

武庫

無古（刊本）

務古、住吉神代記。

六車(庫)莊、中右記、承德元、二、八。
武庫莊、吾妻鏡、文治六、四、十九。

石井 以之井 (刊本)

曾祢 彌 (刊本)

津門 都止 (刊本)

津門首、新撰姓氏錄、撰津国皇別。
角松原、万葉集 卷三(二七九)。
都努乃松原、万葉集 卷十七(三、八九九)。

廣田 比呂多 (刊本)

廣田郷、撰津国風土記逸文(本朝神社考卷二所引、存疑)。
廣田國、神功紀、撰政元年。 住吉神代記。
廣田神、新抄格勅符抄。
文德実録、嘉祥三、十、辛亥。
三代実録、貞觀元、正、廿七。貞觀元、九、八。
貞觀十、十二、十六。

廣田神社、延喜式神名帳。
廣田社、延喜玄蕃寮式。

雄田 于多

有馬郡

(阿利萬)郡、刊本

有馬郡、撰津国風土記逸文(釈日本紀 卷十四 所引)。
住吉神代記。

有間温湯、舒明紀、三、九、乙亥。孝德紀、大化三、十、甲子。
有間温泉、万葉集 卷三(四六一)。
有間山、万葉集 卷三(四六〇)。卷七(一、一四〇)。

春木 波留木

幡多 發多有上下
在 (刊本)

羽束 波都加之

羽束國、住吉神代記。
羽束首、新撰姓氏錄、撰津国皇別。
羽束、新撰姓氏錄、撰津国神別。
羽束工戸(攝津國有馬郡)、延喜兵庫寮式。
つの國のはつかの里、和泉式部集。
羽束郡、拾芥抄。

大神 (高本なし)

大神温泉、鹿舌三像大明神、色葉字類抄。

忍壁

於之加倍有上下
在(刊本)

刑部首、新撰姓氏録、撰津国神別。

《有馬郷》 日本地理志料。

菟原郡

(宇波良)(郡、刊本)

菟原郡、法隆寺伽藍縁起并流記資財帳(天平十九、二、十一)。

菟原郡、続紀、神護景雲三、六、癸卯。 住吉神代記。

むばらのこほり、伊勢物語 三十三。 八十七。

むばら、大和物語 一四七。

菟原(菟名負)處女、万葉集 卷九(一、八〇九)。

菟原(宇奈比)壯士、万葉集 卷九(一、八〇九)。

賀美

葦屋

(刊本)

あしやのさと、伊勢物語 八十七。

葦屋驛、延喜兵部省式。

葦屋漢人、新撰姓氏録、撰津国諸蕃。

葦屋處女、万葉集 卷九(一、八〇一)。

葦屋、万葉集 卷九(一、八〇一)。(一、八〇九)。

(一、八一〇)。

布敷

布敷首、新撰姓氏録、撰津国皇別。

ぬのびきのたき、伊勢物語 八十七。

古今集 卷十七。

栄花物語。平治物語(清盛出家の事)。

天敷

(刊本) (刊本津守の次にあり)

津守

覺美

佐才

佐才神(攝津國)、新抄格勅符抄。

住吉

(須岐驛) 純友追討記(扶桑略記、天慶三、十一、所引)。

《菟原郷》 日本地理志料。

八部郡

(高本)

八田部郡(郷部、刊本)

(夜多倍)(郡、刊本)

八部郡(郡部、刊本)

八部郡、続後紀、承和五、三、癸亥。

三代実録、仁和二、八、四。仁和二、十、十九。

(註六) 雄伴郡、撰津国風土記逸文(釈日本紀 十二。釈日本紀 十三、所引)。

法隆寺伽藍縁起并流記資財帳(天平十九、二、十一)。

雄伴國、住吉神代記。

生田 伊久多

活田長峽國、神功紀 撰政元年。住吉神代記。

活田村、天武紀 九年正月丙申。

生田首、新撰姓氏録、撰津国神別。

生田神、新抄格勅符抄。

三代実録、貞觀元、正廿七。貞觀元、九、八。

生田神社、延喜式神名帳。

生田社、延喜玄蕃寮式。

いくたの森、高倉院殿島御幸記(治承四年三月)。

平家物語 卷九。

いくたのかは、大和物語 一四七。

宇治

宇治郷、法隆寺伽藍縁起并流記資財帳(天平十九、二、十一)。

神戸

坤部(攝津國)、法然傳。

八部

也多倍(刊本)

矢田部造、新撰姓氏録、撰津国神別。

長田

奈以多(高本)
奈加多(刊本)

長田國、神功紀、撰政元年。

長田神、新抄格勅符抄。

三代実録、貞觀元、正、廿七。

長田神社、延喜式神名帳。

長田社、延喜玄蕃寮式。

つのくにながたのもり、為頼朝臣集。

長田莊、中右記、元永元、九、十一。

《山田郷》 日本地理志料。

能勢郡

能勢郡、統紀、和銅六、九、己卯。延曆四、正、癸亥。

撰津国風土記逸文(万葉集註釈 卷第三、所引)。

三代実録、仁和二、八、四。

(乃世)(郡、刊本)

能勢

雄村 乎无良

枳根

岐祢 (高本)
木子 (刊本)
岐尼神社、延喜式神名帳。

(註一) 「乃」は「万葉集註釈卷一」の引用文には「之」となっている。

(註二) 本文書は「史料通信叢誌」(撰津部七七頁)所収のものであるが疑問がある。

(註三) 本文書には、年月日、並びに西南角領解とする記載はないが、大日本古文書十三卷(二二〇頁)に収められ、奈良時代のものであることは確実なものである。

(註四) 統紀、延暦四年五月丁酉、「改姓白髮部爲眞髮部、山部爲山。」

(註五) 本郷は「上」を「生」の誤りとするか、「高生上」の略したものとするか——そうすれば「高下」のあ

るのが自然であるが——或いはその他の説によるか現在では決定しかねるが、一応「高生」として史料を列記した。

(註六) 「蓋避淳和帝諱大伴、改大伴氏爲伴氏、改雄伴郡爲八部、亦在此時也、史不書者闕文耳、先是、避光仁諱改白髮部氏爲眞髮部、避桓武諱山部爲山氏、避手城諱阿提郡改在田、避嵯峨諱神野郡改新居、可以例知」(日本地理志料、撰津国八部郡)

(補註)

刊本郡部には「住吉」を「須三與之」と訓んでいるので「須美乃江」がいつ頃から「須三與之」とも読まれるようになったか。次に仮名で「すみよし」と書かれている史料を列挙する。

- ①伊勢物語六十八。
- ②忠岑集。
- ③古今和歌集卷十七。
- ④土佐日記。
- ⑤忠見集。
- ⑥後撰和歌集卷九。卷十二。卷十五。
- ⑦中務集。
- ⑧能宣朝臣集。
- ⑨藤原元眞集。
- ⑩拾遺抄卷九。
- ⑪相如集。
- ⑫源兼澄集。
- ⑬伊勢大輔集。
- ⑭源賢法眼歌集。
- ⑮津守国基集。
- ⑯藤原基俊家集上。
- ⑰康資王母集。
- ⑱栄花物語卅一。

この場合所掲のテキストが問題になるが、③は、久曾神昇氏編「古今和歌集成立論」に、⑥は、小松茂美氏著「後撰和歌集、校本と研究」に、⑩は、三好英二氏著「校本拾遺抄とその研究」に、⑬は、新訂増補国史大系本に、①④は日本古典文学大系本に、②⑤⑦⑨は西本願寺本三十六人集複

製本に、その他は群書類従本によつた。

尚以上の史料を通覧して知られる事は、これらの平安時代前期から中期にかけての史料に「すみのえ」と「すみよし」とが共に使用され、更に同一書中に並び行われている例が少なくない事である。そこで遡つて奈良時代にも多く見られる「住吉」の地名がどう読まれていたかについてしらべて見ると、万葉集に於いては現在「すみのえ」と読むのが常識のようになってゐるらしい。然し一方、万葉集に於いて「吉」の文字は「吉野」と云う地名に数多く用いられ、これらが「よしの」と読まれている事からすれば、万葉集に於いて「住吉」と書かれたものの中には「すみよし」と読まれた場合も含まれるのではないかと思われ、「すみのえ」とだけ読むことには疑問を感ずるものである。